

令和5年度行政評価 施策評価シート (令和4年度実績)

施策名 下水道整備の推進

施策コード 5060302

1. 施策の担当	
主管課	上下水道局 経営総務課
関係課	下水道整備課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 快適で住みやすいまちづくり (快適・憩い・生活基盤)	節 第3節 上下水道
	施策	下水道整備の推進	

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水の整備については、事業量の拡大により人口普及率の向上を図ります。</li> <li>・雨水の整備については、着実に整備を進め、市内の浸水被害の軽減を図ります。</li> </ul>	

現況と課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道は、暮らしに必要な不可欠なライフラインであり、安全で快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るための重要な役割を担っています。</li> <li>・公共下水道汚水整備に係る人口普及率は、44.3% (2022 (令和4) 年度末) と府内でも低水準にあり、水洗化率は89.5%となっております。なお、2022 (令和4) 年度の公共下水道及び浄化槽を含めた生活排水処理率は84.23%となっております。</li> <li>・公共下水道雨水整備については、主要な幹線管渠整備率は90%以上に達しており、今後も市内の浸水被害軽減に向け、着実に整備を進めるとともに、引き続き施設 (雨水ポンプ場) の老朽化対策を実施していく必要があります。</li> <li>・下水道事業については、2020年度 (令和2年度) に地方公営企業法を適用、公営企業会計へ移行し、下水道経営に取り組んでいます。</li> </ul>	

施策目標	
対象 (誰を、何を、どこを)	
市民	
意図 (どのような状態にしたいのか)	
快適で衛生的な生活環境を守り、安全・安心な暮らしの実現。	

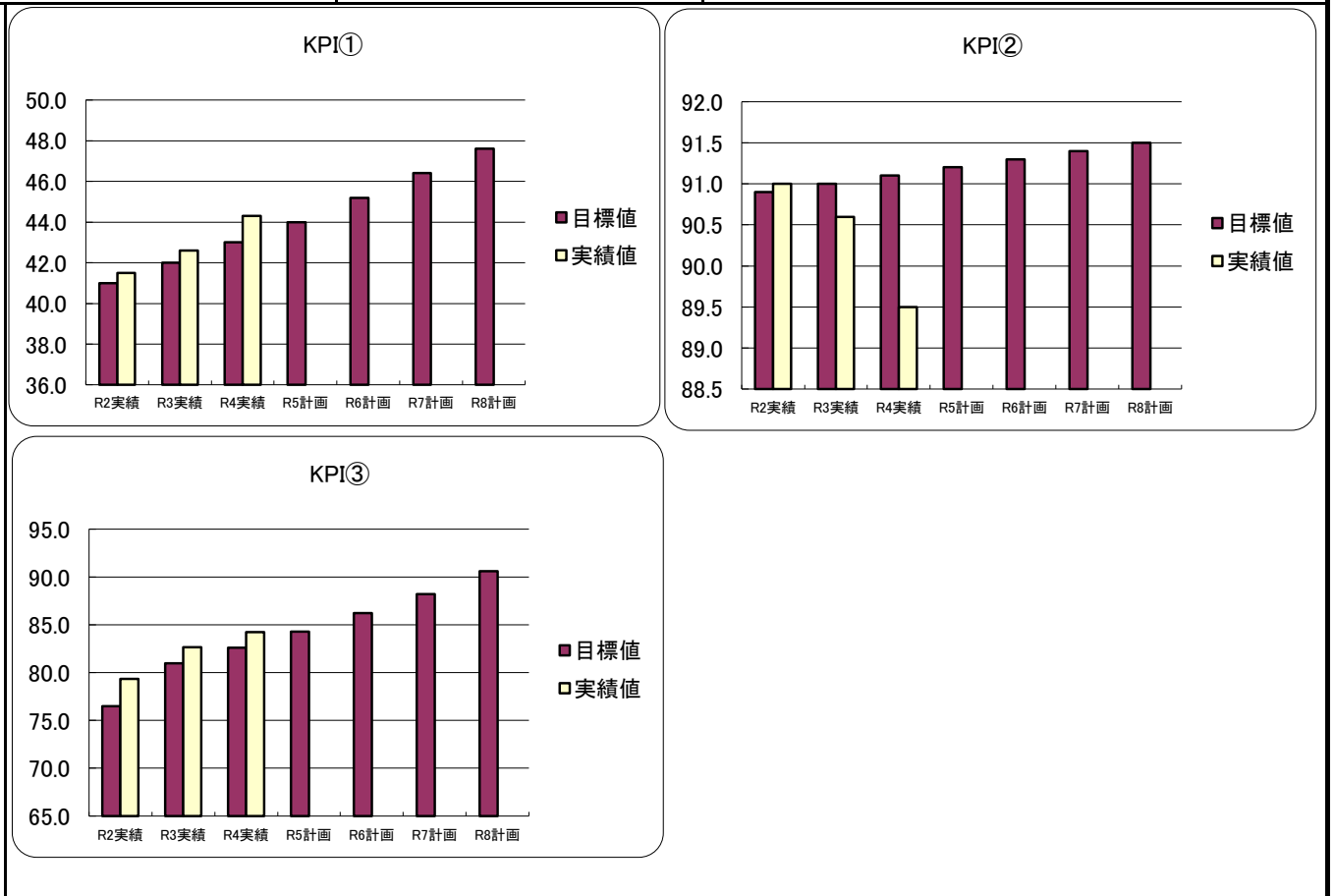
3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	35.6						
重要度 (偏差値)	62.7						

4. 施策にかかるコスト								
		単位	R3決算	R4決算				
コストの内訳	人件費	千円	14,346	14,695				
	事業費		46,129	46,636				
	フルコスト		60,475	61,331				
財源の内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		3	3				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		60,472	61,328				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		46,126	46,633				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)

① KPI 1							
下水道処理（污水）人口普及率							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	41.0	42.0	43.0	44.0	45.2	46.4	47.6
実績値	41.5	42.6	44.3				
達成度	101.22	101.43	103.02				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
下水道整備の進捗状況を人口に占める割合で表した指標で、下水道の普及状況が把握できます。（総人口に対して、公共下水道を利用することができる人口の割合）		市民の快適で衛生的な生活環境を守るため、污水整備を進め、事業量の拡大により人口普及率の向上を推進します。令和元年度より事業量を拡大し、下水道人口普及率を年約1.0%から1.2%と段階的に上昇させることを目標に、効率的な整備を進めます。			下水道整備事業の進捗によるもの。		
② KPI 2							
下水道処理（污水）水洗化率							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	90.9	91.0	91.1	91.2	91.3	91.4	91.5
実績値	91.0	90.6	89.5				
達成度	100.11	99.56	98.24				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
公共下水道普及人口のうち実際に下水道を利用している人口の占める割合で表した指標で、下水道実利用者の状況が把握できます。		R元年度以降は、年0.1%の増加を目標として設定している。			水洗化促進の継続的な啓発によるもの。		
③ KPI 3							
生活排水処理率							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	76.47	80.98	82.62	84.28	86.24	88.21	90.6
実績値	79.35	82.65	84.23				
達成度	103.77	102.06	101.95				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
下水道、浄化槽等の生活排水処理施設による生活排水処理人口の総人口に占める割合で表した指標		泉佐野市生活排水処理基本計画（平成30年3月、令和3年12月改定）に示す目標値（表13）による。			下水道整備事業の進捗及び新規浄化槽の設置によるもの。		

図表



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	本市の下水道事業は、当初は浸水対策等の「雨水」事業を中心に事業進捗してきたため、「汚水」の人口普及率については、府内でも低水準の進捗状況となっているが、健全かつ持続可能な下水道経営を鑑みながら、快適で衛生的な生活環境を守るため、下水道(汚水)の整備を着実に進めている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>1</b>	平成30年度市民アンケート調査では満足度(偏差値)が35.6となり、平成24年度調査に比べ上昇した。重要度(偏差値)も62.7とH24年度調査に比べ微増しており、今後も満足度を上げる必要がある。 下水道は暮らしに必要不可欠なライフラインであり、安全で快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るため重要な役割を担っている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	下水道事業の健全化に向け、収支のバランスが取れた、将来にわたり安定的かつ持続的な運営を推進していく中で、事業を進めていくことが必要。
	合計点	(10点中) <b>7点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	下水道事業の健全化は順調に進んでいますが、今後も引き続き収支バランスを踏まえ、段階的に事業量を拡大し、普及率の向上に努めます。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	引き続き、汚水人口普及率の向上、浸水対策の推進に努めること。	
三次評価(理事者による評価)	<b>B</b>	引き続き、汚水人口普及率の向上、浸水対策の推進に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R4年度決算額			R5年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01039800 排水施設管理事業	14,695	46,636	46,633	0	B	
合計		14,695	46,636	46,633	0		